

# 大阪北部地震を振り返って



市では、昨年6月18日に発生した大阪北部地震について、被害対応状況を整理し、今後の課題を検証した「大阪北部地震を振り返って（検証報告）」を作成しました。今後、発生が危惧されている南海トラフ地震などの大規模災害に備え、防災対策に活用していきます。※検証報告の詳細は市ホームページで公開しています。

また、検証報告を踏まえ、2月15日に市役所で防災情報連携訓練も実施しました。

問合せ 防災管財課へ

## 概要と被害

### ●大阪北部地震概要

- ▽発生日時 6月18日(月)午前7時58分
- ▽震源地 大阪府北部（深さ13km）
- ▽規模 マグニチュード6.1、本市震度5強

### ●避難者情報

- ▽避難所開設 28カ所（6月18日～7月8日）
- ▽避難者数 369人※7月5日～6日の豪雨時避難者を含む

### ●被害状況

区分	被害状況
人的被害	負傷者8人
家屋被害	▽半壊28件▽一部損壊2,286件
事業所被害	100件
公共施設被害	▽子育て総合支援センター▽コミュニティプラザ▽温水プール
道路被害	124件
ライフライン被害	▽停電720件▽水道管破損3件▽漏水40件▽ガス漏れ8件、供給停止1,208件

### ●対応状況

区分	期間	対応状況
災害対策本部	6月18日～7月12日	災害対策本部会議の開催（計12回）
安否確認	6月18日	単身高齢者1,353人（民生委員による確認）
被災建築物応急危険度判定	6月20日～28日	判定158件（危険24件、要注意87件、調査済47件）
り災証明	6月27日～	▽半壊42件 ▽一部損壊2,620件
災害ボランティアセンターの設置・運営	6月21日～7月13日	▽ボランティア登録者55人 ▽依頼申込121件 ▽支援実施104件（修理・家屋の片付け43件、ブルーシート養生61件）
ブルーシートの配布	6月19日～24日	800枚
がれきの処分	6月18日～8月31日	55.31t
入浴支援	6月20日～26日	312人（市内大衆浴場などを無料利用）
被災者支援制度の創設		▽災害見舞金▽被災住宅修繕支援金制度▽ブロック塀等撤去工事費補助金交付制度

## 全体総括

大阪北部地震の影響で発生した主な課題と、その課題の解決を目指した今後の対応を掲載します。

### ①組織動員

#### ▽通常業務対応

【課題】 被害の規模が限定的であったため、通常業務を止めず災害対応を行った

【今後の対応】 被害状況などの情報が災害対策本部に届く情報伝達体制を構築し、どの段階でどの業務を行うかの基準を整備

### ②災害情報の収集・連絡

#### ▽各班の情報連携

【課題】 他班との情報が共有できず、連携が不十分

【今後の対応】 災害対策本部室を設置し、情報共有に努め、全体を指揮できる危機管理専門職の設置を検討

### ③災害広報と広聴

#### ▽様々な広報手段の活用

【課題】 ホームページで復興支援メニューを周知したが、停電や通信環境の寸断も懸念される

【今後の対応】 広報板の有効活用、SNSによる情報発信などあらゆる広報手段の活用を検討

### ④広域応援等の要請・受入れ・支援

#### ▽応援要請

【課題】 防災協定を締結している市町村や民間事業者への援助要請が不十分

【今後の対応】 受援体制を整え、防災協定を締結している市町村や民間事業者と具体的支援を協議

### ⑤公共施設の応急対応

#### ▽公共施設の安全確認

【課題】 公共施設の安全確認前に避難者が訪れるなど、避難所として開設するか早期の判断が必要

【今後の対応】 安全確認後に開所するために、専門家に協力を求めるなど現場確認体制の強化を図る

## ●防災情報連携訓練 「災害時初期の動きを確認」

2月15日(金)に、市役所で職員を対象とした防災情報連携訓練を実施しました。大規模な地震が起こった際、24時間以内に発生が予想される問題に対し、組織としてどのように連携して動くべきかの検討と確認を目的としています。

訓練は平日の午後2時に震度6弱の地震が発生したことを想定。情報を災害対策本部に集約

し、「道路に電柱が倒れて危険な状態」「空き巣や盗難被害が発生している。」など、さまざまな分野の課題に、具体的にどの部署がどのような行動を取るべきか検討し、緊急時の動きについて確認しました。



### ⑥二次災害の防止

#### ▽応急危険度判定

【課題】 庁内で応急危険度判定のスキルを持つ職員に限られ、府などの協力で判定作業をした

【今後の対応】 職員に対し、講習会への参加機会を確保する。他自治体と協力関係を構築

### ⑦交通応急対策

#### ▽公共交通機関とのホットライン

【課題】 阪急摂津市駅横の踏切が長時間閉じ、大規模な交通渋滞を引き起こした

【今後の対応】 災害時のホットラインを確保し、対応策を協議する体制を構築



### ⑧ライフラインの応急対応

#### ▽電気・ガス会社との情報共有

【課題】 ガスの不通など、ライフラインについての問い合わせが多く、対応に苦慮した

【今後の対応】 ライフラインは市での対応が困難なため、インフラ各社に応援を求め、必要に応じて災害対策本部会議への出席を要請

### ⑨避難所の開設・運営等

#### ▽避難所における相談支援

【課題】 住宅被害の大小に関わらず、長期間の避難所生活を余儀なくされた世帯が一定数いた

【今後の対応】 夜間は避難所で、日中は自宅や職場に戻るケースがあり、避難者の心のケアなど、生活再建に向けた支援を早期に行う

### ⑩食料・生活必需品の供給

#### ▽ブルーシートの配布

【課題】 ブルーシートの備蓄がなく、確保から案内・配布に至るまでの対応に時間を要した

【今後の対応】 一定量を備蓄しておく。案内や配布方法を見直す

### ⑪り災証明の交付

#### ▽り災証明の交付

【課題】 り災証明発行までのデータ処理が、操作手順が分かる職員に限られ、時間がかかった

【今後の対応】 受付手順から証明発行に至るフロー図を固め、システムを簡略化

